

2021年度

エコアクション21 環境経営レポート

活動期間(2021年5月～2022年4月)

2022年8月1日発行

株式会社RYU-SEI

目次

環境経営方針	3
ごあいさつ	4
事業概要	5
主な環境負荷の実績と環境経営目標	8
環境経営計画の取り組み結果と評価	9
社会貢献活動	10
環境関連法規の遵守状況	11
代表者による全体評価と見直し・指示	12

環境経営方針

環境経営方針

当社は、一般廃棄物及び産業廃棄物の適正な処理(収集運搬)と、再生資源の有効利用により「人と自然と産業の共生」を求め、カーボンニュートラル及びSDGsの実現に貢献します。

(1)当社の事業活動において環境マネジメントシステムを構築運用し、継続的改善を行います。

(2)当社の環境側面に関わる法規制及びその他の要求事項を順守すると共に、環境汚染の予防に努めます。

(3)事業活動に伴う環境側面の中から次の環境目的・目標を定め、定期的に見直しを行います。

- 1)電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- 2)自動車及び収集運搬車の燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- 3)受託した廃棄物の再使用、再生利用の推進及び分別指導の実施
- 4)一般廃棄物の削減(コピー用紙の削減)
- 5)水資源の節水
- 6)グリーン購入
- 7)社会貢献活動(ライフキャップ運動・地域清掃ボランティア等)の推進
- 8)顧客満足向上及び働き方改革の推進

これらについて環境経営目標・経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

制定:2011年11月1日

改訂:2021年5月1日

株式会社RYU-SEI
代表取締役 木下永績

トップメッセージ

ごあいさつ

当社は、昭和45年創業以来、50年以上、「サービス精神と礼儀」をモットーに、廃棄物の収集運搬サービスを主軸としてご提供し、これまでやって参りました。おかげさまで、排出事業者をはじめとする様々なお客さまのご支援のもとにご愛顧いただくことができ、誠に感謝いたしております。

現在は、地球温暖化対策や循環型社会構築など、地球規模での環境対策が必要な時代となってきておりますが、環境事業に携わる者として率先して自然環境に配慮した積極的な対応を講じながら、多種多様化するお客さまのニーズにお応えすべく、全社一丸となって邁進する所存です。

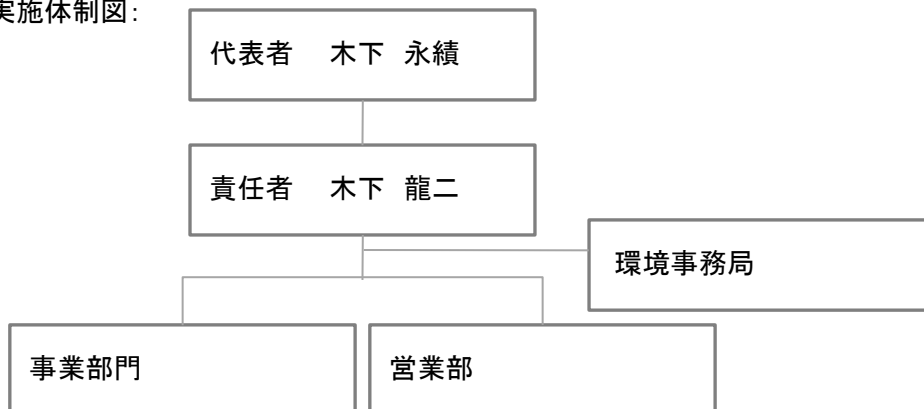
今後とも、ご指導、ご高配を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

株式会社RYU-SEI
代表取締役 木下永績

事業概要

事業概要

- 事業所名 : 株式会社RYU-SEI
- 代表者名 : 代表取締役 木下 永績
- 住所 : 【本社】
大阪府大阪市住之江区御崎5丁目10-9
TEL:06-6683-5090 FAX:06-6683-5091
【駐車場】
大阪府大阪市西成区南津守5-6-28
- 環境管理責任者 : 責任者 木下 龍二
担当者 木下 龍二
- 事業内容 : 一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業
- 設立 : 平成24年2月(創業昭和45年4月)
- 資本金 : 300万円
- 売上実績 : 11,400万円(2021年5月～2022年4月)
- 事業の規模 : 収集運搬量(産業廃棄物623t、一般廃棄物2,620t)
※算出期間: 2021年5月～2022年4月
従業員数 10名
述べ床面積 本社70㎡ 駐車場280㎡
- 環境活動実施体制図:



事業概要

事業概要

許可・登録一覧表

1) 大阪市：一般廃棄物収集運搬業許可

許可番号：第003137
許可年月日：令和4年4月1日
許可の有効期限：令和6年3月31日
事業の範囲：一般廃棄物(ごみ)の収集・運搬

2) 大阪府：産業廃棄物収集運搬業許可

許可番号：02700165430
許可年月日：令和4年4月20日
許可の有効期限：令和9年4月19日
事業の範囲：汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、
動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、がれき類
(石綿含有産業廃棄物を含む) 以上13種

廃棄物収集運搬量

区分	種類	2017年度 (t)	2018年度 (t)	2019年度 (t)	2020年度 (t)	2021年度 (t)
一般廃棄物	一般ごみ	2796	3076	2875	2,734	2,620
産業廃棄物	廃プラ類	423	482	421	463	503
	がれき類	41	50	45	41	45
	木くず	32	35	34	37	40
	ガラスくず	23	32	35	37	35
	合計	519	599	535	578	623

廃棄物処理料金

処理料金については、引き取り場所や品目などにより異なるため、その都度、お見積を算出し、ご提示しています。

事業概要

事業概要

【保有車両】

4tコンテナ 1台
3tローリー 1台

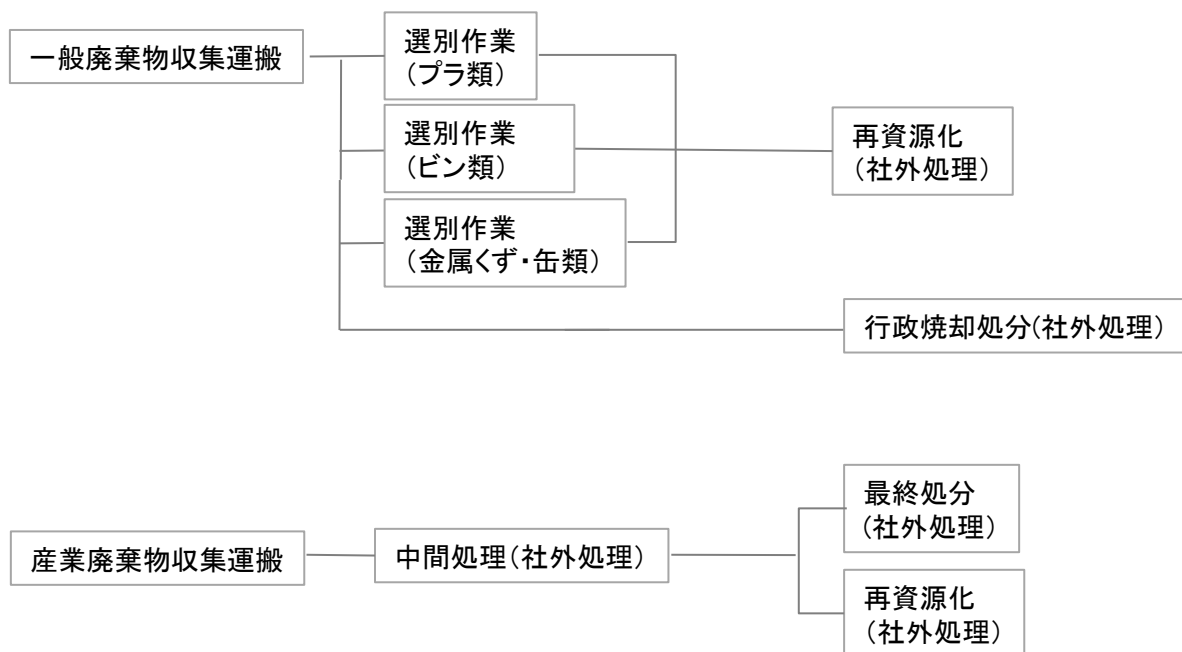
3tパッカー 4台
2t平ボディ 1台

軽自動車 3台(内1台営業車両)



※エコドライブ推進ステッカー貼付

【処理工程図】



主な環境負荷の実績と環境経営目標

主な環境負荷の実績

項目		2010年	2018年	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	53,029	122,756	124,511	125,447	127,925
収集車両の燃費	km/L	—	3.9	3.9	4.0	3.9
自社の廃棄物排出量	kg	61	32	31	32	31
総排水量	m ³	139	90	90	92	110

環境経営目標と実績

項目		基準値	2021年度		達成状況	2022年度	2023年度
		(基準年度)	目標	実績		目標	目標
電力による二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	954	944	919	○	935	925
	基準年比	(2020年度)	99%	96%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	125,660	124,403	127,006	×	123,147	121,890
	基準年比	(2020年度)	99%	101%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	126,614	125,347	127,925	×	124,082	122,815
			99%	101%		98%	97%
収集車両の燃費	km/L	3.71	3.91	3.90	×	3.91	3.91
	基準年比	(2013年度)	105%	105%		105%	105%
一般廃棄物の削減 (コピー用紙の削減)	kg	32	31	31	○	31	30
	基準年比	(2020年度)	97%	97%		97%	94%
水資源の節水	m ³	139	127	110	○	126	125
	基準年比	(2010年度)	91%	79%		91%	90%
環境配慮	次ページの取り組み参照						

電力の二酸化炭素排出係数＝関西電力㈱2019年度調整後係数 0.318(kg-CO2/kWh)

環境経営計画の取組み結果と評価

環境経営計画の取組み結果と評価

環境経営方針	項目	取組み施策	取組み結果と今後の方向(5月～4月)	
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	冷房温度28℃設定とクールビズ運動 暖房温度の20℃設定とウォームビズ運動 昼休みの消灯 不要照明の消灯 OA機器の省エネモード設定	省エネ対策への意識・考え方は社員に指導することにより、徐々にではあるが、削減することができた。 今後も継続して、電力量を削減する取組みを継続する。	○
	燃料消費の削減	低公害・低燃費車の導入 エコドライブシールの貼付 アイドリングストップ 急加速の抑制 冷房の控えめ使用 買換え時は燃費マークを優先する	収集運搬量が増加したことにより、消費燃料の削減目標は未達成でしたが、今後も効率的なルートを選定していく。	×
燃費改善	収集運搬車両の燃費改善	効率的なルート回収 急発進、急ブレーキの削減 アイドリングストップ	僅か未達であるが、効率的なルート回収と安全運転への心がけ、無事故無違反の意識が燃費率にも貢献した。今後も継続していく。	×
一般廃棄物の削減(コピー用紙の削減)	事務所廃棄物の削減	分別ボックスの設置 裏紙使用 古紙のリサイクル化	おおかた、目標を達成することができた。継続して、意識づけを行い、協力を呼びかける。	○
水資源の節水	水道水の削減	洗浄工程の改善 手洗い水量の適正化	社員の手洗いや車両の洗車など、必要ときに集中して実施することで、無駄な使用量を削減することができた。今後も継続していく。	○
グリーン購入	グリーン購入の拡大	エコマーク付きコピー用紙の購入 エコマーク付きファイリング等の文具用品の購入	目標を達成できた。継続して、エコマーク付きの商品を優先的に購入する。	○
リサイクルの推進	分別指導・提案	排出元への分別指導 リサイクルの推進と提案 再資源化の取組強化	排出元への分別方法と分別することでリサイクル可能なことを提案し、少しずつではあるが効果がでてきている。	○
課題とチャンスへの取組み	課題とチャンス	クレーム無し 事故ゼロ 迅速なサービス 自動引き落としの推進 運搬車両の入れ替え 従業者講習 休日消化	一年通して課題を達成することができた。コンテナ車の入れ替えも含めて次年度も継続して課題とチャンスに取り組んでいきます。	○

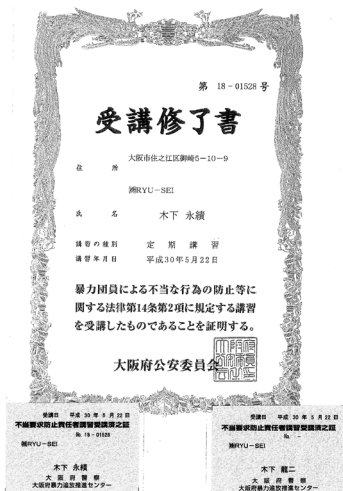
社会貢献活動

社会貢献活動

地域清掃活動の様子



対暴力団の不当要求防止活動への参画



大阪の街をよくする基金 ライフキャップ運動



大阪の街をよくする基金 ライフキャップ運動

みなさまにご協力いただいで得た収益金を、自分たちの街のために、自分たちの人のために、大阪が豊かになるように効果的に活用いたします。活用方法についても、広くみなさまと相談しながら活用していきたいと考えています。



環境関連法規の遵守状況

遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属くず、廃プラ、廃ガラス)の取扱い
家電リサイクル法	洗濯機、冷蔵庫、エアコン、テレビの廃棄物処理
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者、アルコールチェック
NOx・PM法	排気ガス規制に適合した自動車の使用
大阪府条例	流入車規制に適合した自動車の使用
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正廃棄及び処理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

代表者による全体評価と見直し・指示

代表者による全体評価

実施日:2022年7月1日

項目	見直し内容
環境経営方針	環境経営方針は変更したので継続する。
環境経営目標	2021年度の実績を元に基準年度の見直しを検討します。
環境経営計画	より効率的なルート選定と省エネ運転の実施により、自動車燃料の削減に努めた。社内での取り組み共有だけでなく、クライアントにもご協力をお願いし、環境目標の達成と環境問題について、今まで以上に取り組んでいく。
社会貢献活動	地域清掃以外に、ライフキャップ運動の参加など、より積極的に、社会貢献活動に取り組んでいく。
その他	実施体制の変更の必要性は無し

クリーンディーゼル車の導入



エコアクション21 ステッカー貼付

